

# 米イラン 即時停戦合意

## ホルムズ海峡開放へ

### 2週間、恒久化が焦点

【ワシントン、イスラマバード共同】米国とイランの停戦に向けた仲介に当たるパキスタンのシャリフ首相は8日、米イランが即時停戦で合意したと発表した。トランプ米大統領は7日、イランがエネルギー輸送の要衝ホルムズ海峡を開放することを条件に攻撃を2週間停止すると表明。イランは海峡の安全な通航が2週間可能になるとした。停戦が実現すれば初めて。2月末から続く戦闘は重大な局面を迎えた。

ホワイトハウス関係者に

に陥った。

よると、2月末に米国と共にイラン攻撃を始めたイスラエルも2週間の攻撃停止に同意した。恒久的な終結につながるかが焦点だ。

トランプ氏は戦闘終結に向けたイランとの交渉を巡り、米東部時間7日午後8時(日本時間8日午前9時)を合意の期限と設定。パキスタンなどが仲介を続けていた。

戦闘の影響で原油価格が高騰し、世界経済は大混乱



イラン・テヘランで集まり旗を振る人たち  
=8日 (WANA提供・ロイター=共同)



トランプ氏は期限までにホルムズ海峡開放などに応じるようイランに要求。7日には交流サイト(SNS)で「一つの文明全体が今夜滅ぶだろう。起きてほしくないが、恐らくそうなる」と投稿して圧力を強めていた。